

よこひな通信



年度末臨時号 平成 29 年 3 月 25 日発行

校長 石上信彦

3月10日、2期生の卒業式がありました。

式の中では、卒業生の保護者の方はもちろん、来賓の中にも目頭を押さえる方がいらっしゃるなど、すばらしい式ができたと思います。この日の主役は卒業生ですが、在校生の皆さんも一緒になって盛り上げてくれたことが、皆さんを感動させたのだと思います。在校生の皆さんありがとうございます。

さて、平成28年度が終わります。4月からの1年間は、どうだったでしょうか？

学校の1年間の節目である修了式の日、この1年を振り返ってみてください。そして、一緒に1年前の自分と今の自分を比べてみてください。

物事を始める前の1年という時間は長く感じますが、終わった後に振り返ってみると、「あっ」という間です。

1年前の自分と今の自分を比べてみても、余り変わったような気がしないかもしれません。しかし、その中には、必ず成長したところがあるはずです。「良いこと」だけ探してください。自分で思いつけない人はほかの人に尋ねてもいいかもしれません。

1年間の良い成果を自分で確認する。1年の節目にはこのようなことも大切だと思います。「良いこと」を見つけられれば、次の励みになり、次の「良いこと」につながります。新しい1年を前にぜひやってみてください。その先には、きっと「自己実現」が待っています。

学校ホームページはこちら！！

横浜ひなたやま支援学校

検索

年度末臨時号の目次

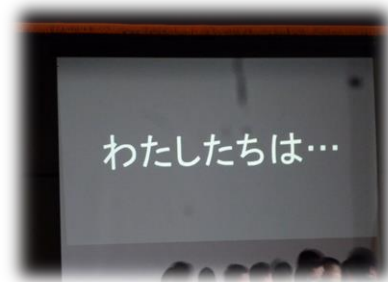
- 校長室より
- 2期生 55人 新たな旅立ち 卒業式開催される！
- 徴収金のお知らせ
- 平成 28 年度 学校評議員会および学校評価報告
- 4月行事予定

2期生 55人 新たな旅立ち 卒業式開催される！

平成 29 年 3 月 10 日(金)、卒業式が開催されました。



昨年度の校歌版に続き、愛唱歌版が披露されました。生徒と教員による力作です。体育館に掲示されています。



3年間を振り返る映像も流されました。



卒業式の後には、卒業を祝う会。よこひなの会(同窓会)の役員の発表もありました。

徴収金のお知らせ

4月5日(水)始業式の日 **¥2,000円**(お釣りのないようお願いします。)

※第1回目は**現金**での徴収になります。あらかじめお渡しした封筒に入れてお支払いください。お子さんを通じてでいいです。

平成 28 年度 学校評議員会および学校評価報告

今年度の学校目標に基づき、計画した内容を6月の学校評議委員会で説明し、委員の方から御意見を伺いました。

9月には、学校評価アンケートを実施し、生徒、保護者、教員の方からそれぞれ御意見をいただきました。

御協力ありがとうございました。

11月の学校評議員会は、県の研究指定校に選ばれて取り組んだ「政治参加教育」の報告と協議を行いました。また、今年度の重点課題である「教育課程の見直し」の経過報告と今後の進め方についての意見交換をしました。

2月の学校評議員会では、各視点、項目ごとに、グループリーダーからの報告と達成状況や今後の方策等に関する協議を行いました。「新教育課程」に関する要望や次年度に向けた御意見をいただくことができました。

学校は生徒と教員と保護者だけでなく、地域の方、企業の方、福祉関連の方等、たくさんの立場の方から、さまざまな視点で御意見をいただき、学校運営に反映しています。よりよい学校を創るため、今後ともよろしく願いいたします。

第1回
学校評議員会
(6月)

学校目標、今年度の計画説明 (以下、いただいた御意見)

- スキルを獲得するだけでなく、自分の状況を発信したり考えたりすることを大切に授業を実践してほしい。
- 卒業後の生活をイメージさせるためにも、企業見学や先輩の報告などの機会は重要である。
- 地域の教育力をもっと活用してほしい。
- 「よこひなSSE」を大切に授業や取組を実践してほしい。

第2回
学校評議員会
(11月)

「政治参加教育」、「教育課程の見直し」について (以下いただいた御意見)

- 生徒達のそれなりに政治を理解しようとする姿勢がみえ、良い取組みである。「選挙に関するスキル」を高めるといふよりは、「公共のルールを守る」ということでよいのではないか。
- 「かわわり」、「選ぶ・考える」「生きる力」等のポイントを絞り、見直していくことは良い。神奈川は、「生きる」より「活きる」。「ICF」の考え方で、誰もが参加できる柔軟性が大切。

第3回
学校評議員会
(2月)

今年度のまとめと学校評価について

(以下いただいた御意見)

- あまり訓練的でなく、社会に出て役に立つことの学びを大切に教育課程や学習内容を選んでいく。
- 「生徒が言われたことをどう理解するのか」を把握して指導・支援して欲しい。
- 「できること」を踏まえた指導をこれからも継続してほしい。
- 職場体験・見学は数多く体験するより、目的意識、動機付けが大切。
- 学校が実施している防災教育と地域防災拠点の活動を融合させることはとても良い。
- 「人に対する支援」「仕事に向き合う姿勢」を大切にされた学校運営が必要である。

(学校評価)

- 職員の見解や保護者アンケートをもとに、生徒の実態等に応じた教育課程を構築することができた。
- 生徒の興味関心や意見や要望等から、活動内容や場所等を工夫し、生徒がすすんで活動できるようにした。
- 進路担当と連絡を密にして、各学年の状況や生徒の実態に応じた職場見学や体験学習の場所、回数を設定することができた。
- 地域等の参加者に応じた内容や講師を設定し実施することができた。本校保護者を含め、地域の方に、関係機関のイベント等を紹介できた。
- 本校の状況や職員の見解に基づいて、研究内容や方法を工夫し、職員の資質を向上させた。